

2025年度笹川科学研究助成募集要項

《 学 術 研 究 部 門 》

1 趣 旨

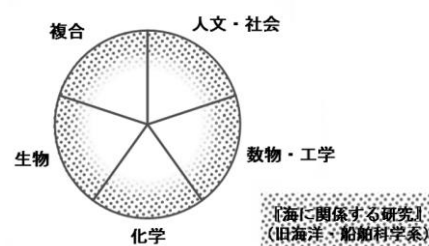
本助成制度は、次世代を担う若手が行う、新規性、独創性または萌芽性を持ち、発想や着想に意外性のある研究を掘り起し、科学・技術研究の振興を図ることを目的とします。特にこれまで活躍の機会があまり与えられなかった、大学院生、外国人留学生、女性研究者、研究環境が十分でない研究者が行う、優れているが他からの助成が受け難い研究を支援します。その中でも「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」等『海に関係する研究』は重点テーマとして支援します。

毎年度の研究期間終了後、審査選考を行い、優れた研究成果を挙げた方や、厳しい研究環境のなかで真剣に研究に取り組んだ方等には、「奨励賞」を授与しています。

また、助成を受けた研究者には、将来、研究の成果を海外で発表する際の旅費等の一部を支援する「海外発表促進助成」を設けており、研究者としてのステップアップと、国際的な舞台で活躍する研究者に育つことを応援します。

2 助成対象となる研究

人文・社会科学および自然科学（医学を除く）の研究を幅広く対象とします。下記表の申請区分に分けて募集を行いますので、ご自身の研究に最も近い区分を選んで申請してください。



『海に関係する研究』も、まずは下記表の申請区分を選んでください。

表1：申請区分について

図1 申請区分の内訳

申請区分	応募資格	年齢	備考
<b>&lt;人 文 ・ 社 会 系&gt;</b> ※『海に関係する研究』：海洋政策（法律・経済・政治など）、海に関係する歴史・民俗学・災害・教育などを含む	大学院生、 研究機関等に所属する非常勤雇用または任期付雇用の方  但し『海に関係する研究』については、雇用形態は問わない	35歳 以下	医学を除く
<b>&lt;数 物 ・ 工 学 系&gt;</b> ※『海に関係する研究』：海洋工学（造船・機械・土木など）、海洋物理などを含む			
<b>&lt;化 学 系&gt;</b> ※『海に関係する研究』：海洋化学、海水化学、水産化学、海洋物質循環などを含む			
<b>&lt;生 物 系&gt;</b> ※『海に関係する研究』：海洋生物・生態・藻類・水産資源生物などの生物学・生態学などを含む			
<b>&lt;複 合 系&gt;</b> ※『海に関係する研究』：海洋資源（新規物質・エネルギー・鉱物など）、海に関係する地球環境・汚染などを含む			

※『海に関係する研究』は、海洋関連研究選考委員会で審査します。  
 詳細は本会 Web サイトにある「申請マニュアル」を確認してください。

3	募集対象者	2025年4月1日現在、35歳以下で、大学院生あるいは所属機関等で非常勤雇用または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する者。 但し『海に関する研究』は重点テーマであるため、雇用形態は問わない。
4	研究期間	2025年4月1日(火)から2026年2月10日(火)まで。
5	研究計画と助成額	研究計画は、期間内に達成し成果をとりまとめられるものとし、助成額は、1件150万円を限度とします。
6	助成対象経費	研究の実施に直接必要な下記費目に該当する経費を対象とします。 ・研究費、旅費交通費、人件費、雑費 ※詳しくは、「申請マニュアル」を確認してください。
7	その他の申請条件	(1) 申請者は、研究完了まで日本所在の大学、研究機関等に籍を置き、日本国内に居住している者に限ります。 (2) 申請者は、当該研究についての推薦者を必要とします。 (3) 推薦者は、日本に在住する当該研究の実質的指導者とし、助成金の採択が決定した場合は、当該研究の内容と経費の確認者になることを条件とします。 (4) 他の助成団体等から助成を受ける研究と実質的に同じ内容または重複する内容の研究は、対象となりません。 (5) 2025年度の日本学術振興会特別研究員に採用されている者は、対象となりません。 (6) 申請は、1個人1研究計画に限ります。
8	申請方法	申請は助成 Web システムで行います。他の方法では受け付けられません。申請方法について詳しくは、「申請マニュアル」を確認してください。
9	申請期間	2024年9月17日(火)から2024年10月15日(火)17:00までに申請を完了させたものまでとします。 ※事前にマイページの取得が必要となります。 ※締切り直前には申請が集中し、アクセスがしにくくなることが予想されるため、早めの申請をお勧めします。
10	選考方法	学識経験者で構成する選考委員会(研究領域別)で、審査選考(金額査定を含む)を行います。 ※『海に関する研究』は、海洋関連研究選考委員会で審査します。
11	選考結果通知	申請に対する採否の結果は、2025年3月下旬までにメールで通知します。選考過程に対する問い合わせには、応じられません。

留意事項		
1	助成金の支払い・精算	<p>決定した助成金は、申請者本人名義の指定口座に振込みます。大学、研究機関等の口座には振込みできません。</p> <p>研究完了後、研究経費支出額が助成金額に満たなかった場合は精算します。</p>
2	報告書の提出	<p>(1)「中間報告書」期限：2025年9月25日（木）まで 研究の進捗状況と経費の支出状況を取りまとめ提出してください。</p> <p>(2)「完了報告書」期限：2026年2月15日（日）まで 研究結果と経費の支出を取りまとめ提出してください。（消印有効・期限厳守）</p>
3	採択課題等の公開	<p>採択した研究課題については、次の情報を公開しますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>《助成対象者の氏名・所属職名・国籍・性別・研究課題名・助成金交付決定額》</p>
4	助成者の責務	<p>研究では、得られた成果を広く社会に還元することが重要です。本研究助成により得られた研究成果については、研究助成終了後も含め、積極的に論文発表を行い社会への情報発信に努めてください。</p>
5	個人情報の取り扱い	<p>「個人情報保護に関する法律」に基づき、本会 Web サイトにある、個人情報保護方針に沿って取り扱います。</p>
6	その他	<p>研究領域ごとに選考総評および助成実績を本会 Web サイトで公表していますので、必ずご参照ください。</p> <p>申請に不備がある場合は受付できませんので、必ず「募集要項」「申請マニュアル」を確認してください。</p>

研究倫理等に関する注意事項	
1	自由な発想による研究を歓迎いたしますが、研究倫理を遵守しているか確認したうえで、申請してください。
2	<p>近年は生命倫理や実験動物に関する法律、生物多様性条約（特に ABS）等の法令遵守が重要視されています。</p> <p>このような法令では、研究を申請してから許可されるまで1年以上かかる場合もあるため、事前に手続き等を踏まえて本助成への申請をしてください。国外で野外調査を行う必要がある研究および外国産の生物を実験に用いる研究の場合、当該国の政府機関に連絡して ABS に関する必要な手続きを取ってください。</p>

《問い合わせ先》

公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F

E-mail : josei@jss.or.jp TEL : 03-6229-5365